

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 5 月 7 日

事業名称		児童・生徒災害給付事業費[独立行政法人日本スポーツ振興センター災害給付制度加入事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	4
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務 課 学務 係					課長名	斎藤 謙二郎				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)	31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内公立小・中学校の児童・生徒					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内公立小・中学校の児童・生徒数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 学校管理下での負傷・疾病に係る医療費や死亡事故あるいは障害を負った場合の見舞金の給付が受けられる					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 給付件数					
	③ そのために何をしましたか。 全児童・生徒を対象として、公費負担により独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入し、負傷・疾病に係る医療費の給付及び障害見舞金、死亡見舞金等の給付を行う					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 日本スポーツ振興センター災害給付制度加入児童・生徒数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	6,611	6,562	6,556					
	成果指標	②の数値	件	471	521	424					
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方 確実に災害給付がされることが、本事業の目的である							
	活動指標	③の数値	人	6,611	6,562	6,556					
3 経費	事業費(実績)		円	6,073,935	6,024,145	5,939,035		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	6,073,935	6,024,145	5,939,035					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.3					
		職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,648,800	0					
	職員人件費(再任用)	円	0	0	1,175,100						
	事業費+人件費	円	7,724,535	7,672,945	7,114,135						
4 環境変化等	(1) 開始年度	S35 年度									
	(2) 環境の変化	特になし									

事業名称	児童・生徒災害給付事業費[独立行政法人日本スポーツ振興センター災害給付制度加入事業]			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
特になし		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	対象者に対する医療費の支払い方法について、検討したい 「学務係⇒学校担当者⇒保護者」の順に現金を手渡ししている	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	特になし	
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)		
□座振り込み等の方法を検討する必要がある		
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	
施策名： 学校教育の充実		
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 特になし	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
特になし		